

平成19年度 社会保険庁予算の概要

□各特別会計の予算額

	(歳入)	(歳出)	(収支差)
○年金特別会計	71兆7,563億円	71兆7,563億円	-
○船員保険特別会計	651億円	651億円	-
合 計	71兆8,214億円	71兆8,214億円	-
※児童手当勘定分を除く			

(1) 国庫負担の予算額

平成18年度予算額 7兆7,322億円	平成19年度予定額 8兆1,376億円	差引増額 4,054億円
※児童手当国庫負担金を除く。		
・基礎年金国庫負担割合については、現行の国庫負担割合(1/3+25/1000)に7/1000(1,124億円)を加算し、1/3+32/1000とする。		

(2) 各勘定別歳入・歳出・収支差

	歳入	歳出	収支差
年金特別会計	71兆7,563億円	71兆7,563億円	-
[児童手当勘定含む]	[72兆2,335億円]	[72兆2,335億円]	[-]
基礎年金勘定	19兆1,362億円	19兆1,362億円	-
国民年金勘定	6兆208億円	6兆208億円	※1 ▲1,490億円
厚生年金勘定	36兆6,536億円	36兆6,536億円	※1 ▲5兆6,379億円
福祉年金勘定	211億円	211億円	-
健康勘定	9兆4,289億円	9兆4,289億円	※2 ▲2,359億円
業務勘定	4,957億円	4,957億円	-
[児童手当勘定]	[4,772億円]	[4,772億円]	[-]
船員保険特別会計	651億円	651億円	※1 ▲3億円
合 計	71兆8,214億円	71兆8,214億円	-
[児童手当勘定含む]	[72兆2,985億円]	[72兆2,985億円]	[-]

(注1) 上記表中における計数はそれぞれ四捨五入によっているので端数において合計とは合致しない場合もあり、整理上変動が有り得る。

(注2) 年金特別会計については、行政改革推進法に基づく特別会計の見直しを踏まえて厚生保険特別会計と国民年金特別会計を統合している。

※1 年金特別会計国民年金勘定及び厚生年金勘定並びに船員保険特別会計については、積立金からの受入額である。

※2 年金特別会計健康勘定については、事業運営安定資金からの受入額である。

(注3) 年金事務費については、財政上の特例措置を継続する。

(注4) 児童手当拠出金収入を業務勘定から児童手当勘定に組替えしている。